

平成19年度

研究のあゆみ

「えがお ちょうせん いきいき」

—協同的な学びをめざして—



柏市立教育研究所
柏市立かしわ幼稚園

研究の概要

1 主題設定の理由

16・17・18年度共同研究から

- ・ 幼保から小への滑らかな接続のためにはコミュニケーション能力の育成が重要。
- ・ 学びの連続性を踏まえた教育内容についての研究を深め、日々の保育や教育の中で実践していくことが大切。

中央教育審議会（答申）から

- ・ 小学校入学前の主に5歳児を対象として「協同的な学び」についての取り組みを推奨。

「幼児教育内容における接続の改善」

一遊びの中での興味や関心にそった活動から、興味や関心を活かした学びへ、さらに教科等を中心とした学習へのつながりを踏まえ、幼児期から児童期へ教育の流れを意識して、幼児教育における教育内容や方法を充実—

「就学以降の学びの基盤となる力の捉え方」

- ・ 人とかかわる力 → 「えがお」
- ・ 好奇心・探究心 → 「ちょうせん」
- ・ 表現力 → 「いきいき」

2 研究の目標と内容 ～協同的な学びをめざして～

目標

- ・ 協同的な活動を中心に、人やものについての理解や関心を深め、人とかかわる力や好奇心・探究心、表現力を育てる。
- ・ 学びの連続性を踏まえたカリキュラムを作成し、協同的な学びによる幼・保・小の滑らかな接続・連携を進める。

仮説

- ・ 友達や様々な人とかかわりながら、一緒に物事をやり遂げていく活動を通して、喜びや悲しみを共感し合い、人の話を聞く力や自分の思いを伝える力が育っていくだろう。
- ・ 一人一人の興味・関心を大切にし、その実現のために友達と一つの目標に向かって協力工夫して解決していく体験を積み重ねていくことにより、好奇心・探究心が高まっていくだろう。
- ・ 協同的な活動の中で人やものについての学びを深め、心を動かすような体験を積み重ねていくことにより、自分の思いを様々な方法で表現していくだろう。

内容

- * 幼児期から児童期への発達の特徴を把握（実態把握、幼保相互理解）
- * 就学以降の学びの基盤となる力と協同的な学びの在り方の共通理解（年間指導計画の見直し）
- * 協同的な学びをめざした保育内容の見直し（カリキュラム開発、実践事例の検討）
- * かかわりを深める活動（大積み木、当番活動、ゲーム 等）
- * かかわりを深める交流（幼保交流、幼保小交流、未就園児との交流 等）
- * かかわりを深める研修（幼保合同研修会、幼保小合同研修会、出前授業、相互参観 等）

<テーマの共通理解>

えがお（人とかかわる力）

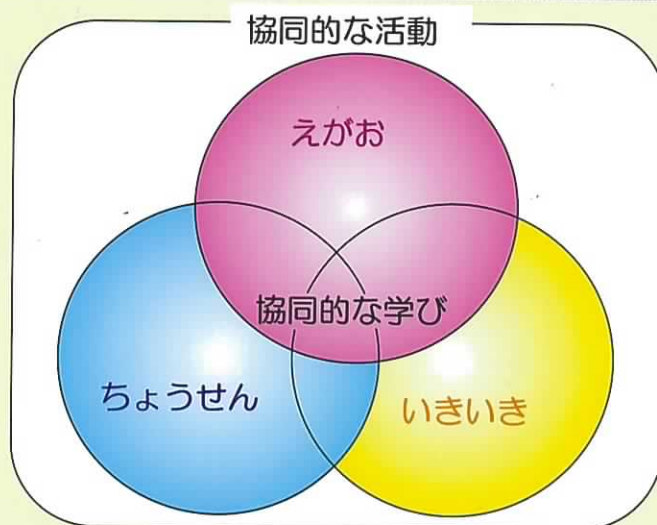
- ・ 友達の思いを聞き取れる子
- ・ 自分の思いを言葉で相手に伝えられる子
- ・ 喜びや悲しみを共感し合える子

ちょうせん（好奇心・探究心）

- ・ 元気いっぱい夢中になって活動する子
- ・ 進んで見たり聞いたり試したりする子
- ・ あきらめないでやり遂げる子

いきいき（表現力）

- ・ 楽しく工夫する子
- ・ 自信をもって行動する子
- ・ 豊かな感性をもち、感動を伝えられる子



3

年間指導計画の見直し ～協同的な学びに向けて～

※本園は5歳児のみの1年保育

【Ⅰ期】4月～6月上旬

【Ⅱ期】6月中旬～8月

【Ⅲ～Ⅴ期】9月～3月



小学校

(子ども)

一人一人が安定する時期

- ・園の生活に慣れ、個々に安定していく。
- ・生活に必要なきまりを守りながら、先生や友達と遊ぶ楽しさに気付いていく。

自己を発揮する時期

- ・好きな遊びを見つけ、友達と触れ合いながら工夫したり、挑戦したりして、自分の力を十分発揮していく。
- ・友達との遊びの中で自分の気持ちを出し、園生活を楽しむ。

協同的な学びが可能となる時期

- ・友達と一緒に、共通の目的をもって意欲的に活動する。
- ・互いの思いを受け止め、認め合いながら体験したことや想像したことなどを、様々な方法で表現する。
- ・就学する喜びと自覚をもち、主体的に遊びや生活をする。

(教師の関わり)

教師に親しみを感じ、集団の中で安定して過ごせるように援助

楽しみながら、集団の中で自己表出できるように援助

葛藤を乗り越え、協同的な学びができるように援助

4

今年度の重点 ～「協同的な学び」と「えがお」～

◎「協同的な学び」について

↓ 協同的な活動を通して「就学以降の学びの基盤となる力」を育成

◎今年度の重点

↓ **えがお** 人とかかわる力

- ・友達の思いを聞き取れる子
- ・自分の思いを言葉で相手に伝えられる子
- ・喜びや悲しみを共感し合える子

*協同的な活動の中で「ことば育て」と「人とのかかわり」をめざす

「ことば育て」について

- ・自分の思いを「言葉」で表現し、伝え合うことで友達とのコミュニケーションを図ろうとする力を育成する。

「人とのかかわり」について

- ・集団生活の中でよい刺激を受け、影響し合いながら人とかかわる力を培う。
- ・友達の気持ちや立場を考えて自己抑制する力を身に付けていく。
- ・譲り合ったり、協力し合ったりして楽しく遊ぶことの心地よさと、トラブルを乗り越えることの喜びにも気付かせる。
- ・ルールやきまりなどの約束事について体験的に学ぶ場面や集団参加を促す場面を積極的に設定し、集団生活のルールに気付かせることを通して、社会性の基礎を培う。



月	通常保育での重点	交流会活動		教職員の交流・合同研修 等
		幼保・幼保小の交流	地域との交流	
4	楽しいゲーム			研究協力の依頼 ・あけぼの保育園 ・柏第四小学校
5	当番活動 〔朝と帰りの会〕 〔飼育,お弁当,掃除〕 大積み木	第1回幼保お散歩交流 「さつまいもの苗を植えよう」	なかよし広場1 「エプロンシアターを見よう」	第1回合同研修会(幼保) ・会場 市立かしわ幼稚園 ・今年度の研究について 幼保小交流打合せ
6	大積み木 	第1回幼保小交流活動 「1年生と校庭たんけん」 第2回幼保お散歩交流 「七夕かざりをつくろう」	なかよし広場2 「シャボン玉をして パネルシアターを見よう」	幼保お散歩交流打合せ
7	(夏祭り) 		なかよし広場3 「七夕かざりを作り パネルシアターを見よう」	柏市教職員夏季研修講座 (幼保小関連内容講演)
8				柏市教職員夏季研修講座 (幼保小関連内容講演)
9	(運動会)		なかよし広場4 「玉入れをしよう」 	第2回合同研修会(幼保小) ・会場 柏第四小学校 ・1学期の反省 ・2学期の交流について
10	大積み木		なかよし広場5 「運動会ごっこをしよう」 なかよし広場6 「運動遊びをしよう」 	幼保お散歩交流打合せ
11	大積み木	第2回幼保小交流活動 「1年生といっしょにあそぼう」 第3回幼保お散歩交流 「いもほりをしよう」 第4回幼保お散歩交流 「焼きいもパーティーをしよう」	なかよし広場7 「電車ごっこをしよう」	第3回合同研修会(幼保) ・会場 市立かしわ幼稚園 ・2学期の反省 ・3学期の交流について
12	大積み木	第5回幼保お散歩交流 「グループであそぼう」 第6回幼保お散歩交流 出前授業「たのしいきゅうしょく」	なかよし広場8 「クリスマスリースを作り ベル演奏を聴こう」	幼保お散歩交流打合せ 出前授業打合せ (柏四小栄養士)
1	大積み木 	第7回幼保お散歩交流 「つくってあそぼう 1」 第8回幼保お散歩交流 「つくってあそぼう 2」 第9回幼保お散歩交流 「つくってあそぼう 3」	地域のお年寄りとの交流 「お餅つきとお正月遊び」 なかよし広場9 「たこをつくって遊ぼう」	第4回合同研修会(幼保) 柏市幼児教育研究交流会 ・会場 市立かしわ幼稚園 ・保育参観 ・研究発表及び情報交換
2	(発表会)		なかよし広場10 「ゲームをしよう」	幼保小交流打合せ 研究のあゆみ作成
3		第10回幼保お散歩交流 「おわかれ会をしよう」 第3回幼保小交流活動 「1年生と学校たんけん」	なかよし広場11 「おわかれ会をしよう」	第5回合同研修会(幼保) ・今年度の研究のまとめ

当番活動

「飼育」や「昼食」「帰りの会」「掃除」などの当番活動は、一人ではなく友達と一緒に協力して行うものである。友達と協力して最後まできちんと活動することにより、集団生活のルールに気付かせ、責任感や社会性の基礎を培いたいと考え、「当番活動」を年間通しての活動として設定。



楽しいゲーム

ゲームは楽しい雰囲気の中で、友達とのかかわりを深め合える活動である。自分の思いをなかなか言葉にできない子も、ゲームの楽しい雰囲気の中では気負わずに自己表現できるようになっていく。ルールやきまりを守り、協力して遊ぶ楽しさや心地よさを味わえるよう、様々な「楽しいゲーム」を年間通しての活動として設定。



大積み木（活動の重点）



大きな積み木を使って遊ぶ活動は友達と一緒にだからこそできる活動である。譲り合ったり協力し合ったりして楽しく遊ぶことの心地よさとトラブルを乗り越えることの喜びに気付かせながら、互いに思いを伝え合い共感し合っかかわる力を身に付けていきたいと考え、「大積み木」を年間通しての活動として設定。

5月10日	大積み木の約束を知ろう
5月17日	友達と誘い合って遊ぼう①
6月11日	友達と誘い合って遊ぼう②
7月17日	友達と思いを伝え合いながら遊ぼう
10月26日	いろいろな物をつくって遊ぼう①
10月29日	いろいろな物をつくって遊ぼう②
11月 8日	イメージを共有して遊ぼう
12月12日	保育園の友達とグループで遊ぼう



幼保お散歩交流（交流の重点）

あけぼの保育園（年長児）との交流

—互いに就学前の幼児教育を充実—

5月28日（月）	さつまいもの苗を植えよう
6月29日（金）	七夕かざりをつくろう
10月23日（火）	いもほりをしよう
11月 8日（木）	焼きいもパーティーをしよう
12月12日（水）	グループであそぼう
12月13日（木）	出前授業「たのしいきゅうしょく」
1月16日（水）	つくってあそぼう1
1月17日（木）	つくってあそぼう2
1月23日（水）	つくってあそぼう3
3月 5日（水）	おわかれ会をしよう

★主なねらい★

- ・回を重ねる中で無理のないように段階を経ながら交流を深め、人とかかわる力の育成に努める。
- ・グループ活動を中心とした交流により、園児同士のかかわり合いを深めていく。
- ・幼保が互いの園を行き来して交流を深め、就学に向けて園での楽しい体験を共有していく。



幼保小交流会（年3回）

★主なねらい★

回を重ねる中で無理のないように段階を経ながら交流を深め、小学校が身近に感じられるようにする。

1年生と校庭たんけん

6月8日（金）

《柏第四小学校 校庭》
グループごとに1年生の案内で校庭を探検し、一緒に遊ぶ。



1年生と一緒に遊ぼう

10月11日（木）

《体育館・1年生教室》
体育館でダンスを教えてもらったり、教室で秋のかんむりを作ったりして交流を深める。



1年生と学校たんけん

3月13日（木）

《柏第四小学校 校舎内》
グループごとに1年生の案内で校舎内を探検し、就学への期待を高める。

なかよし広場（年11回）

★主なねらい★

- ・異年齢児とかかわり合いながら楽しく遊ぶ。
- ・小さな子とかかわる中で、いたわりの気持ちをもって優しく接することができるようにする。
- ・年上としての自覚をもち、進んでかかわれるようにする。

電車ごっこをしよう

11月16日（金）



地域のお年寄りとの交流

★主なねらい★

- ・地域のお年寄りと一緒に正月遊びや餅つきを楽しむ。
- ・お客様に対する礼儀やマナーを守り、思いやりのある態度を身に付ける。

お餅つきとお正月遊び

1月11日（金）



今年度の重点「えがお」について抽出児の記録

友達とのかかわりを通し、少しずつ気持ちに余裕ができたA児

子どもの変容を見るために「抽出児の記録」も行いました。



教師の思い (☺A児 ★教師)

- ☺ 思い通りにならないと、言葉だけでなく時として手がでる。また、友達の気持ちをくみ取ることが苦手である。
- ↓
- ★ 自分の思いを言葉で相手に伝え、友達とコミュニケーションを取りながら楽しく遊べるようになってほしい。
- ↓
- ☺ トラブルに対して、教師が互いの気持ちを受け止めてどうしたらよいか友達同士で考えるようにかかわっていき、それらの経験をたくさん積み重ねていくことで落ち着いてかかわれるようになってきた。

合同研修会

<年5回開催>

- 4・5・6歳児の発達の主な特徴
- 幼稚園教育要領と保育所保育指針(6歳児)にみる「5領域のねらいと内容」
- 「協同的な学び」と「就学以降の学びの基盤となる力」について
- 研究年間計画の作成
- 交流会活動案作成 等



交流会打合せ

<年6回開催>

- 交流会実施前に、幼保小の関係職員による打合せを行う。

- ・ 交流のねらい
- ・ 指導及び援助の留意点
- ・ それぞれの教職員の役割分担
- ・ 事前指導と事後指導について 等

柏四小栄養士による「出前授業」

たのしいきゆうしょく(食育)

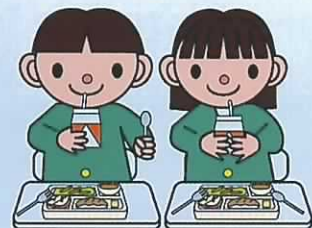
12月13日(木)

<市立かしわ幼稚園 遊戯室>

- ・ 幼保お散歩交流の中で実施
- ・ 幼稚園児に対する食育
- ・ 希望した保護者の参観

★主なねらい★

- ・ 給食の実物や調理用具等を見ながら給食についてのお話を聞き、学校の給食を身近に感じると共に就学への期待をもつ。
- ・ 給食のメニューや使われている野菜、そして、それらが元気な体をつくることを知り、いろいろな食物を食べようとする意識を高める。



幼稚園の成果

- 「協同的な学び」と「えがお」についての共通理解をもとに年間指導計画を見直し、全職員が同じ意識で日々の保育の充実に努める事ができた。
- 合同研修により、幼保小それぞれの相互理解が深まると共に、教職員同士の交流を進めることができた。
- 人とのかかわりを深める活動を通して、互いに自分の思いを伝え合いルールを守って協力して活動することの楽しさを体感すると共に、人の話を聞く態度や責任感なども身に付いてきた。
- 人とのかかわりを深める交流では、様々な人々とのふれあいにより礼儀やマナーを学び、心を通わせるためには相手の思いに耳を傾けることや自分の思いをきちんと言葉にして伝えることの大切さを学ぶことができた。
- 1年保育で2クラスの幼稚園としては近隣の人々との交流は大変重要であり、あけぼの保育園との交流の積み重ねでは就学に向けての保育をより充実させていくことができた。



幼稚園の課題

- 人の思いを聞き取ったり互いに思いを言葉で伝え合ったりする力を身に付けていくには個人差が大きい。さらに園児一人一人に対する理解を深め、個に応じた援助や指導に努めていきたい。
- 人とのかかわりを深めていく力を身につけていくにはその時々の子どもの興味や関心に合わせた継続的な環境設定が必要となった。教師間での連携を図り子ども達の様子を様々な視点で見守り、環境設定の工夫に努めていきたい。
- 交流を深めるためには事前の綿密な打合せが重要である。保育園や小学校の担当者には時間を割いて協力していただいた。メールやFAX等も活用し、あまり負担にならないような協力体制作りをしていきたい。



保育園の成果・課題

- 幼稚園の広い園庭やホール等での交流により、子ども一人一人の発想が広がると共に、普段とは違う友達と刺激し合いながら活動を充実させ、楽しむことができた。
- 幼稚園との交流を子ども達は楽しみにし、毎日の活動の中に日々の生活とは違うわくわくする日となった。
- 年長児23名は乳児期からの持ち上がりで、大きな環境の変化のない中で過ごしてきた。慣れた場所、慣れた人間関係の中で過ごすとは違い、この交流により人間関係が広がり、良い緊張感をもって活動するという経験もできた。これは就学を前にした年長児として人とかかわる力を深める一つのきっかけとなった。
- まだ自分の思いをなかなか出せない子もいるので援助の仕方を工夫したい。
 - かかわりを深める交流を行うには事前の打合せが必要だが、日程調節や時間の確保が難しい。



協力

柏市立あけぼの保育園
柏市立柏第四小学校

柏市立かしわ幼稚園

柏市立教育研究所

* 発行者・お問合せ先 *

柏市立教育研究所

〒277-8503 千葉県柏市大島田 48 番地の1 (TEL) 04-7191-7387

柏市立かしわ幼稚園

〒277-0862 千葉県柏市篠籠田 1 1 9 (TEL) 04-7143-1523

発行日 平成20年3月